

# 第3次発展・強化計画

## 重点課題

### (令和6年・7年)

第3次発展・強化計画の計画期間（平成31年度～令和5年度）を次期地域福祉プラン（令和8年度開始）の計画期間に合わせるため、2年間延伸するものです。

令和6年（2024）3月



社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会

## 第3次発展・強化計画「重点課題」（令和6年度・7年度）について

職員共通理解：「地域主義」（原点は「地域」、そこに暮らす「市民」）  
～すべての起点は地域のために～

第3次発展・強化計画（平成31年度～令和5年度）における取組を振り返り、令和5年11月9日開催の令和5年度第1回茅ヶ崎市社協発展・強化計画推進委員会で頂いたご意見等を踏まえ、計画延伸期間（令和6年度・7年度）に重点的に取り組む事項を「**重点課題**」として課題1～5-2（**2p～7p**）に位置づけました。上記の職員共通理解を念頭に、職員一丸となって取り組んでまいります。

### 第3次発展・強化計画における市社協のあるべき姿とそれに向けた課題

- 課題1 地域福祉課題解決に向けた相談支援体制強化【課題を把握】
- 課題2 地域の基盤づくりのための連携強化【課題の受け止め・共有】
- 課題3 はぎ間の課題に対する支援体制の強化【つながり・連携】
- 課題4 必要な人に必要なサービスが届く体制づくり【解決に向けて・支える】
- 課題5-1 社会の変化に対応できる市社協組織の強化
- 課題5-2 活動財源の確保

## 課題 1 地域福祉課題解決に向けた相談支援体制強化 【課題を把握】

### 重点課題

#### ○地域支援重視の職員意識の醸成

全職員が地域支援を重視する意識の醸成を改めて図ります。

##### **具体的なアクション**

- ・局内会議において地域情報の共有を図ります。
- ・局内研修において個別事例の検討を行い、職員のスキルアップを図ります。
- ・組織体制強化の観点から地区担当制の在り方を重点的に検討します。（令和8年度新体制）

#### ○地域のつながり強化

コロナ禍を経て、分断された地域の中で、多様な参加・つながりの場の創出に取り組みます。

##### **具体的なアクション**

- ・新しいツナガリに関する講座を開催し、地域での新たな人材発掘、居場所づくりを進めます。併せて従前の活動の再構築と新たな取り組みとのつながりづくりを進めます。
- ・業務の効率化、ICTの活用を進め、職員が地域に出やすい環境整備を図ります。

## 課題 2 地域の基盤づくりのための連携強化【課題の受け止め・共有】

### 重点課題

#### ○市社協が実践する活動の見える化

地域の皆様に福祉を身近に感じてもらうとともに、より開かれた社協となるため、様々な活動について積極的に情報提供します。

#### 具体的なアクション

- 広報紙「社協ちがさき」の内容を見直すとともに、ホームページ、LINE、Instagram、YouTube等も含めて情報発信の機会を増やし、広報活動を強化します。
- 情報発信に関する職員スキルを高めるため、広報に関する研修の受講を進めます。
- 先進的な情報発信に関する先進事例の調査・研究を進めます。
- シティーセールスの観点から市広報シティプロモーション課との連携を図ります。

## 課題3 はざ間の課題に対する支援体制の強化【つながり・連携】

### 重点課題

#### ○「人材育成基本方針」の浸透とその実践

地区課題の解決に向け、市社協がコーディネート力を発揮するため、「人材育成基本方針」の浸透・実践を図ります。

#### **具体的なアクション**

- ・改めて本会の使命「誰もが個人として尊重され、その人らしく暮らせるまちの実現」を職員間で共有します。
- ・職階層ごとの果たすべき役割を再度確認し、職に応じた自律的・自発的な行動へつなげます。
- ・将来のキャリアプランを見据えた職員研修計画を作成・実行します。
- ・職員研修を推進する実務担当者を配置します。
- ・次代を担う専門性の高い人材の発掘に向け、戦略的な職員採用事務を展開します。
- ・計画的な担当替えにより、市社協に求められる幅広い業務に対応できる職員を育成します。

## 課題4 必要な人に必要なサービスが届く体制づくり【解決に向けて・支える】

### 重点課題

#### ○必要な人に必要なサービスが届く体制づくり

制度のはざ間や深刻な生活課題を抱える人々への支援を充実させます。

#### **具体的なアクション**

- 地域や関係機関とのつながりを意識した相談支援・事業展開を進めます。
- 市民の権利擁護推進のため市成年後見支援センターを受託する方向で、事務局人員体制を整備します。
- 市民の権利擁護の担い手である市民後見人の養成を進めます。
- サービス提供の担い手である事務局職員の健康管理を推進します。（ストレスチェック等）

## 課題 5 - 1 社会の変化に対応できる市社協組織の強化

### 重点課題

#### ○事務局体制の強化

時宜に応じた組織体制の見直しを進めます。

##### **具体的なアクション**

- ・ 事務局次長の複数配置、プロパー職員の事務局長配置、相談体制強化のための人員配置  
専門性の高い人材確保（戦略的職員採用） （市成年後見支援センター受託に向け）

#### ○新規会員の確保

新たな会員確保に向けた取組みを強化します。

##### **具体的なアクション**

- ・ 商工会議所との情報共有だけでなく市防災協定関係機関との連携を進めます。

#### ○災害対応力の強化

災害ボランティアセンター設置・運営に向けた準備を進めます。

##### **具体的なアクション**

- ・ ICTの活用によるマッチング対策（kintone）とより実践的な訓練を実施します。

## 課題 5 - 2 活動財源の確保

### 重点課題

#### ○自主財源の確保

多様な取り組みによる財源確保に取り組みます。「協力したくなる社協への転換」

#### **具体的なアクション**

- 広報紙「社協ちがさき」及びホームページバナー広告掲載の新規開拓を進めます。
- 保有する車両車体への広告掲載を検討します。
- タイミングをとらえた基金の積極的運用を図ります。
- 新たな公共施設への自動販売機設置（道の駅湘南ちがさき等）に向け調整します。
- 予算、財源の理解、財源確保（ファンドレイジング等）についての職員研修を実施します。